

神 学 部 規 程

2008年（平成20年）12月2日施行

（趣旨）

第1条 この規程は東京基督教大学学則第1条第2項の規定に基づき、東京基督教大学神学部（以下「本学部」という。）における教育研究上の目的、その他必要な事項について定める。

（教育研究上の目的）

第2条 本学部の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、以下の通りとする。

本学部は、プロテスタント福音主義の理念に基づいたキリスト教世界観と召命観を持ち、教派を超えて教会と社会で、世界宣教の志を持って神と人に仕えるクリスチャンを養成することを教育の目標としています。そのために必要な人格と幅広い教養、神学に関する専門的な知識、主体的に考え行動する力の涵養に努めます。

（学部の構成、専攻）

第3条 本学部に、学則第4条に定める総合神学科を設置する。

- 2 総合神学科の教育研究上の目的は、本学部の教育研究上の目的と共通とする。
- 3 総合神学科に、履修モデルとして、以下の専攻を設置する。別表1に定める科目を修得した者には、学長は当該専攻の修了を認定する。

- (1) 教会教職専攻
- (2) グローバル・スタディーズ専攻
- (3) ユース・スタディーズ専攻
- (4) キリスト教福祉専攻
- (5) 神学教養専攻

- 4 前項に定める各専攻の教育目標は、以下の通りとする。

- (1) 教会教職専攻
教会教職者（牧師、宣教師、伝道師など）への召しに応え、福音主義に立脚した神学諸分野（聖書・組織・歴史・実践）を有機的に統合した学びに取り組む。個々の賜物と召しを重んじ、各教会・教団教派の特徴を尊びつつ、包括的福音の担い手を自覚する教会教職者の養成を目指す。
- (2) グローバル・スタディーズ専攻
世界の痛みのあるところに神の愛と平和をもたらすために、異文化の人々と協働することのできる実践的な力をもった人を育成する。国内外の社会問題について多様な視点から分析し、創造的に発想しながら問題解決に向けて自ら行動できる力を養う。
- (3) ユース・スタディーズ専攻
ユース（思春期の若者）の文化、および心理的・社会的発達のプロセスや課題を理解し、彼らの全人的な成長を促し支えるリーダーシップを養うことを目指す。また、聖書の言葉をユースの実践的問題解決につなげるために神学する力を養う。
- (4) キリスト教福祉専攻

基礎的な聖書・神学の理解を土台に、キリスト教福祉の考え方と実践力を養う。特定の領域に縛られず、人々と共に生きる福祉や教会と福祉のあり方等のテーマを、介護・ソーシャルワーク双方から広く学び、将来のキリスト教福祉ワーカーとしての働きに資するスピリット・知識と技術を培う。

(5) 神学教養専攻

すべてのキリスト者が神に召された献身者であると考え、それぞれのキリストにある天職を求め、それに応えていくことを目指す。あらゆる事柄についてキリスト教独自の視点で考え、日常生活の全領域において、聖書の言葉に根ざした思想をもって行動する力を養う。

5 1・2年次教育の教育目標は、以下の通りとする。

キリスト教リベラルアーツ教育に基づく幅広い教養を身につけ、理論と実践を統合し、共同体での学び合いを通じて、霊性、知性、品性、社会性を育てる。また、基礎的学びを発展させつつ、キャリア形成を意識しながら専攻を選択する。

6 学則第24条の4に定める制度は、認証制度及び副専攻と称し、詳細は認証制度・副専攻実施規程において定める。

(アドミッションポリシー)

第4条 本学部は、学則第10条第2項に基づき、入学者受入方針（アドミッションポリシー）を以下の通り定める。

全学部共通

東京基督教大学は、プロテスタント福音主義の理念に基づいたキリスト教世界観と召命観を持ち、教派を超えて教会と社会で、世界宣教の志を持って神と人に仕えるキリスト教を養成することを教育の目標としています。

本学の教養教育、寮教育やチャペル礼拝を通じたキリスト教人格教育、各専攻による専門教育により、福音的な聖書理解と幅広い神学知識、人と社会に仕える姿勢と教養、神と教会に仕える情熱と知見、主体的に考え行動する力の涵養に努めます。

本学の入学者に求める条件、資質は以下のとおりです。

1. 既に洗礼を受けたか、幼児洗礼の場合は信仰告白をしていること。
2. キリストへの献身¹を表明し、将来教会と社会に仕えることを志していること。
3. 本学の建学の精神と信仰基準に同意すること。
4. 聖書の基礎知識を有し、基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力があること。
5. 自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションがとれること。

本学の入学者選抜においては、聖書の基礎知識、基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力、自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションをとれる力があるかどうかを審査します。なお、入学者選抜における評価方法及び評価比重については、別途学生募集要項に定めます。

注1 本学が考える「献身」とは、牧師や宣教師のみならず、広くこの世界でキリストに仕える者としての献身を意味します。

(カリキュラムポリシー)

第5条 本学部は、学則第23条第4項に基づき、教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）を以下の通り定める。

本学部では、「建学の精神」および「理念とミッション」に基づく「ディプロマポリシー」を達成するために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を提供し、学修成果をどのように評価するのかを、「カリキュラムポリシー」として以下のように定めています。この「カリキュラムポリシー」を通して、福音的な聖書理解と幅広い神学的知識、さらには情熱を持って神と人に仕えるための実践力を身につけたクリスチャンを育成することを目指します。（文末カッコ内は、東京基督教大学の「ディプロマポリシー：DP」に対応する番号です。）

[1] 科目の提供

- a. プロテスタント福音主義と超教派の理念に基づき、聖書神学、組織神学、歴史神学、実践神学の伝統的で幅広い神学の学びの機会を提供します。（DP-1, 2）
- b. 人間と社会を理解するために必要な教養教育科目を提供します。（DP-2, 4）
- c. クリスチャンとして広く社会で活躍する人を育成するため、日本語と英語の両方で学ぶことのできるカリキュラムを提供します。（DP-4）
- d. 異文化と他者への理解をもって神と人に仕える実践力を身につけたクリスチャンを育成するため、実践神学、グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉等の科目群を設けます。（DP-1, 3, 4）

[2] 科目の編成

- a. 学生の主体的な履修を励ますため、基礎学力の向上から専門的知識の修得までを可能にする科目を、科目番号を用いて体系的にわかりやすく配置します。（DP-1, 2, 3）
- b. 学生が自らの興味や将来の目標に沿った学びを進めることができるように、幅広い神学科目の中から、より明確な将来像と結びついた複数の専攻（履修モデル）と副専攻を提供し、具体的な進路選択を促します。提供される専攻は以下のとおりです。教会教職、グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉、神学教養（DP-4, 5）
- c. 科目ごとに授業の目標、内容、教育方法、評価方法等を明記したシラバスを作成して学生に提供します。また「カリキュラムポリシー」を具体化し、可視化して共有するための「カリキュラムマップ」を学生と教職員に提供し、カリキュラムに関する大学全体の共通理解と連携を図ります。（DP-3）
- d. 毎学期後に実施される学生による授業評価を用い、より効果的な科目配置や、授業内容の改善を実施します。（DP-3）

[3] 学修の方法と評価

- a. 学生と教員の距離を縮め、より能動的な学修参加を促すため、少人数クラスの編成を基本とし、講義、演習（ゼミ）、実習（インターンシップ）、実技、卒業研究等の多様な学びの機会を提供します。（DP-3, 4, 5）
- b. 学生の能動的な学修参加と、他者との協働を促すため、授業の中で小グループ・ディスカッションや学生発表等のアクティブラーニングの諸方法を用いた学修の機会を提供します。（DP-3, 4, 5）
- c. 社会と教会に仕える実践力や協働力を身につけたクリスチャンを育成するため、チャペル礼拝¹出席及び地域教会での礼拝出席を必修とし、さらに寮教育の機会を提供します。（DP-4, 5）

- d. 卒業判定につながる学修成果の評価には、通常の科目成績評価に加え、学生の自己評価や教員との面談を含む複数の他者評価が総合的に用いられます。(DP-1, 2, 4, 5)

[4] 学修(学習)のサポート

- a. 担任制を設け、履修相談や進路相談を含めて、細やかに支援します。(DP-3)
b. 上級生と下級生の積極的な交流の機会²を設け、学生同士の相互援助を可能にする学習共同体の形成を促します。(DP-4, 5)
c. 学習に困難さを抱える学生のために、支援制度を設けます。(DP-3)
d. 学生相談室を設け、心身の課題を含めた学生の多様なニーズに応えます。(DP-4, 5)

[5] 初年次の教育

- a. 初年次の学生には、大学における学びに備えるための基礎的な学力の充実を主眼とする科目や、神学を概観できる科目に加え、大学という学習共同体の一体感や、キリスト教世界観を形成するために必要な実践的な学びの機会を提供します。
(DP-1, 2, 3, 5)
b. 初年次には、学生が自らの興味や召命感に基づいて、主体的に、そしてワクワク感を持って学習の計画を立てることができるよう、多様な履修モデルの紹介や、教員、上級生との交流の機会²が提供されます。(DP-3, 5)
c. 入学前教育の結果等を用いて支援の必要な学生を把握し、入学直後からサポートを開始します。(DP-3)
d. 初年次からキャリア教育を開始し、具体的な将来像の形成を支援します。(DP-4)

「カリキュラムポリシー (CP)」の履行

- ・学部の科目やその内容に加え、その他の教育的プログラムや学生を対象とした企画等に関する文章には、根拠となる「カリキュラムポリシー」の記号(例:CP-1a, CP-3c)を併記し、本ポリシーの着実な履行を目指します。
- ・教職員は、本学の「教育のPDCA サイクル」を念頭に、自らの営みを「カリキュラムポリシー」や「ディプロマポリシー」と照らし合わせて常に確認し、必要な改善を継続的に実施します。

(注)

- 1 チャペル礼拝とは、火曜日から金曜日に、大学チャペルでもたれる、全学生出席の礼拝のことです。
- 2 入学時のオリエンテーションやスプリングリトリート、小グループチャペル等が含まれます。

(ディプロマポリシー)

第6条 本学部は、学則第30条第4項に基づき、卒業認定・学位授与に関する方針(ディプロマポリシー)を以下の通り定める。

本学部では、所定の期間在学し、本学の「教育目標」に沿って設定された授業科目を履修して、基準となる単位を修得し、卒業判定に合格することが学位授与の要件となっています。学生のために準備された学びには、講義科目のほか、演習や実習、卒業研究等の科目に加え、寮教育や卒業チャペルでのスピーチが含まれます。

以下の基準を満たしている者に学位が授与されます。

1. プロテスタント福音主義の意義を主体的に把握している。

2. 東京基督教大学の超教派の理念を肯定的に理解している。
3. 修得科目にふさわしい神学の知識とその応用力を身につけている。
4. クリスマンとして人と社会に仕える姿勢および幅広い教養とその実践力を備えている。
5. 神と教会に仕える情熱と、そのために必要な知見を備えている

(専攻会議等)

第7条 本学部総合神学科に1・2年次教育担当者会議を置く。また、第3条第3項に定める専攻ごとに専攻会議を置く。

- 2 1・2年次教育担当者会議及び専攻会議(以下「専攻会議等」という。)の構成員は、学部長が指名する。
- 3 当該年度の最初の専攻会議等の招集者は、学部長が指名する。以降の招集者、役割分担その他は、当該専攻会議等において決定する。
- 4 専攻会議等は、随時開催する。

(専攻会議等の審議事項)

第8条 専攻会議等は、次の事項を審議する。

- (1) 当該専攻等の授業科目及び単位に関する事項
- (2) 当該専攻等の授業科目の履修基準及び履修方法に関する事項
- (3) 当該専攻等の専門科目の非常勤教員の対応に関する事
- (4) 当該専攻等の学生の教育指導及び学生生活指導に関する事
- (5) 当該専攻等の学生の霊的ケアに関する事
- (6) 当該専攻等について、教授会又は学務会議からの諮問事項に関する事
- (7) 当該専攻等と教務課等関係部署との連携に関する事
- (8) その他専攻等の運営および学生指導に関する事

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、教授会の議を経て学長が行う。

附則 [2020年(令和2年)3月2日制定]

- 1 この規程は、2021年(令和3年)4月1日から施行する。
- 2 この規程の施行の日に、「学部規則」は廃止する。
- 3 2021年4月1日に学生募集を停止する神学部神学科及び国際キリスト教福祉学科の教育研究上の目的その他は、なお従前の例による。
- 4 以下の各号に定める学科等に所属する学生に関する事項については、それぞれ以下に掲げる専攻会議等が審議する。
 - (1) 神学科(専攻等に所属しない者)…1・2年次教育担当者会議
 - (2) 神学科教会教職専攻…教会教職専攻会議
 - (3) 神学科神学専攻…神学教養専攻会議
 - (4) 神学科アジア神学コース…神学教養専攻会議
 - (5) 神学科シニアコース…神学教養専攻会議
 - (6) 国際キリスト教福祉学科国際キリスト教学専攻…グローバル・スタディーズ専攻会議

(7) 国際キリスト教福祉学科キリスト教福祉学専攻…キリスト教福祉専攻会議

別表1

教会教職専攻

| 科目名 | 単位数 |
|----------------------|-----|
| 教会音楽Ⅲ (教会音楽の実際) | 2 |
| ヘブライ語 1 (文法 1) | 2 |
| ヘブライ語 2 (文法 2) | 2 |
| ギリシア語 1 (文法 1) | 2 |
| ギリシア語 2 (文法 2) | 2 |
| 聖書学Ⅰ (旧約通論) | 2 |
| 聖書学Ⅱ (福音書) | 2 |
| 聖書学Ⅴ (書簡) | 2 |
| 組織神学Ⅰ (神論・人間論・キリスト論) | 2 |
| 組織神学Ⅱ (救済論・教会論・終末論) | 2 |
| 歴史神学Ⅰ (古代・中世) | 2 |
| 歴史神学Ⅱ (宗教改革・近現代) | 2 |
| 歴史神学Ⅵ (日本キリスト教通史) | 2 |
| 実践神学Ⅰ (宣教学) | 2 |
| 実践神学Ⅲ (説教学) | 2 |
| 実践神学Ⅳ (説教演習) | 2 |
| 実践神学Ⅴ (礼拝学) | 2 |
| 実践神学Ⅵ (牧会学) | 2 |
| 専門演習 (教会教職 1) | 2 |
| 専門演習 (教会教職 2) | 2 |

グローバル・スタディーズ専攻

| 科目名 | 単位数 | 専攻要件 |
|--|-----|------|
| Total English 4 | 4 | 10 |
| Pre-English Intensive Study Abroad | 1 | |
| English Intensive Study Abroad | 4 | |
| 韓国語 1 (基礎) | 2 | |
| 韓国語 2 (初級) | 2 | |
| 韓国語 3 (中級) | 2 | |
| 中国語 1 (基礎と台湾文化入門) | 2 | |
| 中国語 2 (初級) | 2 | |
| Intermediate Japanese Language and Culture 1 | 4 | |
| Intermediate Japanese Language and Culture 2 | 4 | |
| Intermediate Japanese Language and Culture 3 | 4 | |

| | | |
|--|---|----|
| Advanced Japanese Language and Culture 1 | 2 | |
| Advanced Japanese Language and Culture 2 | 2 | |
| Advanced Japanese Language and Culture 3 | 2 | |
| Japanese Extensive Reading and Listening 1 | 2 | |
| Japanese Extensive Reading and Listening 2 | 2 | |
| Japanese Extensive Reading and Listening 3 | 2 | |
| Mastering Kanji 1 | 1 | |
| Mastering Kanji 2 | 1 | |
| Mastering Kanji 3 | 1 | |
| グローバル・スタディーズ I (異文化理解) | 2 | 2 |
| Global Studies I: Intercultural Communication | 2 | |
| グローバル・スタディーズ II (グローバル・スタディーズ入門) | 2 | 2 |
| Global Studies II: Introduction to Global Studies | 2 | |
| グローバル・スタディーズ III (日本文化論) | 2 | 10 |
| Global Studies III: Japanese Arts and Aesthetics | | |
| グローバル・スタディーズ IV (アフリカ文化論) | 2 | |
| Global Studies IV: Introduction to African Culture | | |
| Global Studies V: Crucial Issues in Asia | 2 | |
| グローバル・スタディーズ VI (キリスト教と文化) | 2 | |
| Global Studies VII: Religion and Society in Japan | 2 | |
| グローバル・スタディーズ VIII (平和学) | 2 | |
| Global Studies IX: International Development | 2 | |
| グローバル・スタディーズ IX (国際協力論) | 2 | |
| Global Studies X: Japan Encounters the West | 2 | |
| グローバル・スタディーズ XI (韓国文化論) | 2 | |
| Global Studies XII: Religion and Public Policy | 2 | |
| グローバル・スタディーズ XIII (リーダーシップと組織マネジメント) | 2 | |
| Global Studies XIV: TESOL | 2 | |
| グローバル・スタディーズ XV (日本語教育) | 2 | |
| 人文学 II (西洋思想) | 2 | 8 |
| 人文学 III (東洋思想) | 2 | |
| 人文学 IV (キリスト教倫理) | 2 | |
| Humanities I: Survey of Western Philosophy | 2 | |
| Humanities II: Christian Ethics | 2 | |
| Great Books I: Western Philosophy | 2 | |
| Great Books II: Japanese Literature | 2 | |
| Great Books III: World Literature | 2 | |
| Great Books IV: Social Sciences | 2 | |
| Great Books V: Natural Sciences | 2 | |
| Great Books VI: Sacred Books of the East | 2 | |

| | | |
|---|---|---|
| Great Books VII: Christian Classics | 2 | 8 |
| 歴史神学 I (古代・中世) | 2 | |
| 歴史神学 II (宗教改革・近現代) | 2 | |
| 歴史神学 VI (日本キリスト教通史) | 2 | |
| Christian History and Tradition I: Ancient and Medieval Church History | 2 | |
| Christian History and Tradition II: The Reformation and Modern Church History | 2 | |
| Christian History and Tradition VI: Japanese Church History | 2 | |
| 実践神学 I (宣教学) | 2 | |
| Practical Theology I: Missiology | 2 | |
| 専門演習 (グローバル) / Major Seminar: Global Studies | 2 | |
| 実習 A (グローバル) / Internship A: Global Studies | 2 | |
| 実習 B (グローバル) | 4 | |
| 実習 C (グローバル) | 6 | |

ユース・スタディーズ専攻

| 科目名 | 単位数 | 専攻要件 |
|------------------------|-----|------|
| 社会科学 III (心理学 I) | 2 | 2 |
| 社会科学 IV (心理学 II) | 2 | 2 |
| 教会音楽 I (ミュージックミニストリー) | 2 | 2 |
| ユース・ミニストリー I (神学と実践) | 2 | 2 |
| ユース・ミニストリー II (思春期の理解) | 2 | 2 |
| キリスト教教育 I (神学と理念) | 2 | 2 |
| キリスト教教育 II (方法と実践) | 2 | 2 |
| 実践神学 I (宣教学) | 2 | 2 |
| 実践神学 II (メッセージの方法と実践) | 2 | 2 |
| 専門演習 (ユース 1) | 2 | 2 |
| 専門演習 (ユース 2) | 2 | 2 |
| 実習 A (ユース 1) | 2 | 2 |
| 実習 A (ユース 2) | 2 | 2 |
| 卒業研究 A (個人) | 6 | 6 |
| 聖書学 I (旧約通論) | 2 | 8 |
| 聖書学 II (福音書) | 2 | |
| 聖書学 III (モーセ五書) | 2 | |
| 聖書学 IV (預言書・聖文書) | 2 | |
| 聖書学 V (書簡) | 2 | |
| 組織神学 I (神論・人間論・キリスト論) | 2 | |
| 組織神学 II (救済論・教会論・終末論) | 2 | |
| 歴史神学 I (古代・中世) | 2 | |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 歴史神学 II (宗教改革・近現代) | 2 | |
| 歴史神学 III (旧約聖書史/考古学) | 2 | |
| 歴史神学 IV (第二神殿時代史/考古学) | 2 | |
| 歴史神学 V (信条学) | 2 | |
| 歴史神学 VI (日本キリスト教通史) | 2 | |

キリスト教福祉専攻

| 科目名 | 単位数 | 専攻要件 |
|--------------------------------------|-----|------|
| 人文学 IV (キリスト教倫理) | 2 | 4 |
| 人文学 V (キリスト教哲学) | 2 | |
| 社会科学 I (保育学) | 2 | |
| 社会科学 III (心理学 I) | 2 | |
| 社会科学 IV (心理学 II) | 2 | |
| キリスト教福祉 I (介護福祉) | 2 | 2 |
| キリスト教福祉 II (キリスト教公共福祉論) | 2 | 2 |
| キリスト教福祉 III (人間の尊厳と自立) | 2 | 2 |
| キリスト教福祉 IV (人間関係とコミュニケーション) | 2 | 2 |
| キリスト教福祉 V (こころとからだのしくみ) | 2 | 2 |
| キリスト教福祉 VI (生活支援技術) | 2 | 2 |
| キリスト教福祉 VII (障がいの理解) | 2 | 2 |
| キリスト教福祉 VIII (社会福祉論) | 2 | 2 |
| キリスト教福祉 IX (対人援助と問題解決法) | 2 | 2 |
| キリスト教福祉 X (精神保健福祉論) | 2 | 2 |
| グローバル・スタディーズ XIII (リーダーシップと組織マネジメント) | 2 | 2 |
| グローバル・スタディーズ I (異文化理解) | 2 | 4 |
| グローバル・スタディーズ II (グローバル・スタディーズ入門) | 2 | |
| グローバル・スタディーズ IX (国際協力論) | 2 | |
| 専門演習 (キリスト教福祉) | 2 | 2 |
| 実習 A (福祉) | 2 | 2 |
| 聖書学 I (旧約通論) | 2 | 6 |
| 聖書学 II (福音書) | 2 | |
| 組織神学 I (神論・人間論・キリスト論) | 2 | |
| 組織神学 II (救済論・教会論・終末論) | 2 | |
| 歴史神学 I (古代・中世) | 2 | |
| 歴史神学 II (宗教改革・近現代) | 2 | |
| 実践神学 I (宣教学) | 2 | |

神学教養専攻
すべての科目から自由に選択する